

## 平成 17 年度第 5 回理事会抄録

日時：平成 17 年 11 月 19 日（土）13：00～17：50

場所：（社）日本作業療法士協会 10 階会議室

出席：杉原（会長）、中村、山根（副会長）、荻原（事務局長）、富岡、長谷川（監事）、岩瀬、太田、小林（正）、香山、鶴見、早川（宏）、比留間（常務理事）、大熊、大丸、片岡、糊沢、小林（毅）、澤田、早川（昭）、日垣、三澤、山本（理事）、石塚、三沢（部長）、毛束、土井、松房（委員長）、大嶋（土会連絡協議会副会長）（大瀧会長代理）

### 審議事項

1.補正予算（案）について（石塚財務部長）補正予算（案）を説明。学会時の会場費の法人運営費からの支出、各部・委員会の旅費交通費が多すぎるなどに対して意見が出されたが、賛成多数で承認。

**承認**

2.平成 18 年度主要目標（案）について（毛束企画調整委員長）前回検討した点の訂正を含む案を説明。「協会長期活動計画の見直し」を項目として入れるなど、細かい調整をすることで承認。

**承認**

3.事例報告登録規程（案）について（土井規約委員長）この内容で承認される。

**承認**

4.養成教育検討（特設）委員会の諮問（案）について（杉原会長）連絡会を検討委員会に移行した経緯の説明を含む養成校教員対象の研修会の開催 卒前教育部（仮称）で分掌すべき事業の内容の提示の 2 点の諮問内容。

**承認**

5.全国研修会について（杉原会長）300 名 300 万の規模で年 2 回開催の協会案に対し合同研修会で意見が出されたので、協会の方向性を再度検討して示したい。意見として 協会が主催し、300 万円で委託契約を土会と結び、請け負った土会が運営のすべての責任を持つ。準備期間が必要、今方針が出ても次々年度に間に合わない。

300 人規模なら土会レベルでも集まる、作業療法フォーラム的な位置づけだとイメージが異なる、会員は研修の場がほしくて佐賀県の規模になった、等の意見が交換された。事務局が取りまとめ、12 月理事会に提案、再度審議を行う。

**継続**

6.介護保険制度改定に関する意見書について（杉原会長）11 月 21 日の厚労省老健局長のヒヤリング資料として作成。「今回改革の推進に必要な要件に関する提案」と「提示された事項に関連する提案」に分け、自立支援、リハの立場から積極的に応えるスタンスだ。生活活動的なイメージができる説明を加えてほしい、データも持っていくとよい等の意見が出たが、この内容で承認される。

**承認**

7.日本発達障害ネットワークの理事推薦について（荻原事務局長）準備会より理事推薦の依頼が来たが、会費を払って加盟団体となり、その中から理事を選出することが分かった。三澤理事に依頼し、様

子を見ることにする。「運動器の10年」日本委員会の会員継続の呼びかけがある。確認して対応する。 承認

8.会員の入退会について（荻原事務局長）死亡退会2名、賛助会員入会（モリタ印刷株式会社、徳武産業株式会社） 承認

#### ・報告事項

1.中間監査・学会会計監査報告（富岡監事）学会監査は渉外費0円という表記の問題と、コンベンション業者の選定・契約を慎重にというコメントをつけた。協会の中間監査は0決算額の部署があるが、速やかな会計処理の実施をしていただきたい。

2.40周年記念事業について（松房40周年記念事業実行委員長）決算は黒字が見込める模様。50周年に向け、PT協会と分離開催が望ましい。今回の資料を10年後に確実に保管することが必要。

3.協会・士役員合同研修会（片岡士会組織担当理事）83名参加。アンケートの結果、日時、場所は概ね好評。内容については適切と問題ありが拮抗。今後、内容について意見を煮詰める必要がある。

4.政治団体の設立について（杉原会長）1月12日に設立総会を行うが、作業療法士協会の世話人については未だ検討中である。

5.国民医療推進協議会の署名について（荻原事務局長）国民皆保険を守る等の活動をしていく集まりで政治連盟ではない。各県の医師会からの依頼もあるので、連絡協議会にも了解願いたい。

6.事務局職員の公募状況について（荻原事務局長）ハローワークを通して求人した結果、25件応募があったが、面接10件に絞り、12月2日、6日に面接を行い、17日の理事会で提案する。

#### 7.その他

1)白書経過報告（毛束企画調整委員長）40周年記念特集としてこの10年の動きと今後10年の展望を担当者に書いていただく。アンケートは11月7日に返送分までを最終統計とする。回収率は53.2%。

2)広報部報告（山本広報部担当理事）精神障害分野広報ビデオの制作業者は医療福祉チャンネルに選定。協会ニュースの編集業者から来年度委託辞退の申し出。オペラ3万5000部発行。好評で全部配布済み。高校生向けビデオは士会と養成校に発送済み、高校に発送準備中。協会HPの広報活用はサーバー会社選定で遅れている。出展活動はすべて終了。NHKの認知症番組出演者を紹介。

3)(荻原事務局長)日本ドリコムで「医療教育福祉健康系オールガイド」を企画。面接員の派遣を要請されている。来年4月から6月に各地で開催するので、理事の方はご協力願いたい。

4)(山本保険部担当理事)9月に要望書を作成。11月5日に協会三役、理事、部長の合同協議を行い、17日に関連団体との協議の場を確保、21日に老人保健局との意見交換等を行っている。

5)(香山精神障害問題担当理事)来週精従懇主催の自立支援法につ

いての意見交換会があるので出席願いたい。

6)(早川(宏)保健福祉部担当理事)来年1月に行われるIT支援・サポート技術者研修会の案の説明。

7)(澤田学術部担当理事)事例集積事業の実施に伴い、協会が取り組むべき研究プロジェクトを検討中。作業療法の効果について、緊急性のあるテーマがあればお知らせ願いたい。

8)(比留間事業部担当理事)急性期から在宅への研修会が11月23日に東京、1月29日に大阪で開催。12月10、11日に全国研修会。12月11日熊本で介護保険フォーラム2005が3協会合同で開催。

9)(中村副会長)川崎リハの明石謙先生が逝去された。

以上